

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和5年10月6日(金) 発行人：校長 森内 秀学

感化する×待つ＝気づき・考え・実行する子どもへ

草原のように雑草が広がっている運動場の状況については、本紙面でも紹介したところ
です。さて、本校はどう取り組んだのでしょうか…。「草を抜きなさい」と指示すれば、子
どもはきっと抜いたでしょう。でも、そうはしませんでした。授業中に黙々と草を抜く職員
の背中や、自主的に草を抜いている低学年の子どもの姿を通して、横眼で見ている他の子
どもを「感化」し、どのように広がっていくのか、どう動くのか、じっと「待ち」ました。



すると、今週のはじめ、給食中の放送で、保健体
育委員会の子どもが、こんなことを呼びかけました。
「運動場に草がたくさん生えています。昼休みの終
わりの5分間、みんなで抜きましょう。」

その様子が、この写真です。待ってよかったな、
信じてよかったな、と思いました。まさに、子ども
が自ら気づき、考え、実行している姿です。しかも、
集めた草は、美化掲示委員会が委員会活動やボラン
ティア活動として処理してくれるそうです。

「さいよりも たいのあふれる学校に」。自分から動いている子どもの目は、輝いています。
目指す学校に近づけるには、子どもを信じることが、やっぱり大切です。

ここで涼んでいるのかな？

何の写真がお分かりですか？実はこれ、校長室のパソコンの
角に止まっていた小さなトンボの写真なのです。どこからやっ
てきたのか、10分以上止まっていました。風に乗って飛べる
トンボでも、外はまだ暑いのかもかもしれませんね。



復活！カナリーステージサイン

「小・中9年間、時津の施設で時津の子どもを本
物の音楽に触れさせたい！」そんな思いで始まった
カナリーステージサインというイベントが、9月
29日(金)に行われました。招かれたのは、町内
の5,6年生全員。元時津小校長 志田浩文館長の
あいさつから始まった今回、ピアノに合わせた二胡
の演奏はとても美しく、繊細でした。しかし、驚い
たのは、アンコール後の演奏。今流行りのアニメや映画の主題歌を踊りながら演奏された
ものですから、もうたまりません。みんなノリノリの、素敵な演奏会になりました。

たのは、アンコール後の演奏。今流行りのアニメや映画の主題歌を踊りながら演奏された
ものですから、もうたまりません。みんなノリノリの、素敵な演奏会になりました。